

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：八幡市

重点目標	<p>「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」</p> <p>八幡市の主要課題                  人権を尊重しだれもが輝く地域づくり、これからの”八幡”を担う人づくりの推進                  地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成                  みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進                  活力あふれ人がつどう交流のまちづくりの推進                  健全な行財政運営と協働によるまちづくりの推進</p>		
	事業群	構成事業名	
次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまち ～子育て、教育、文化芸術振興～（事業群 b）		e スクール構想事業	
		文化センター改良事業	
		地域における子育て対策事業	
		さつき市民プール整備事業	
		男山中学校校舎床リニューアル工事	
事業群全体による 成果の概要	<p>○e スクール構想事業                      学力の基盤となる語彙力や計算力、単語力などについてはDSでの反復練習による効果により、学力の向上が図れた。</p> <p>○文化センター改良事業                      舞台機構及び舞台備品の改良・更新を行うことで、市内外の利用者の多様なニーズに応え、利用者の拡大が図れた。</p> <p>○地域における子育て対策事業                      子どもが豊かに育つ環境づくりと子育て家庭を地域全体で支援していくための、施設・設備の充実が図れた。</p> <p>○さつき市民プール整備事業                      遊泳者の安全確保を第一とし施設を整備することで、事故を未然に防ぐことが出来た。</p> <p>○男山中学校校舎床リニューアル工事                      校舎の廊下を滑りにくく整備したことにより、生徒の転倒などを未然に防ぐことが出来た。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		eスクール構想事業			
事業の概要		<p>平成19年度より、教育研究開発学校の指定を文部科学省より受けて、新設教科である総合基礎科を立ち上げ、モジュール学習(集中的学習)に取り組んでいる。その中で八幡市立の中学校2年生の英語の総合基礎科においてはDS(任天堂機器)を活用し、単語力の向上を図っている。</p> <p>平成19年度で学力向上サミット(文部科学省委託事業)は終了したが国際化に視点をおいた英語力を向上させるには、引き続きDSを活用したモジュール学習を推進していかなければならないため、DSを市で単独購入した。</p> <p>※DSモジュール学習            中学2年生の生徒1人に1台のDSを配布し、「中学英単語ターゲット1800DS」を使用して、1週間(5日間)10単語を毎日10分間学習する。</p>			
		事業期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日		
		総事業費	5,670	本年度事業費	5,670
事業評価	事業の必要性	平成19年度で学力向上サミット(文部科学省委託事業)は終了したが国際化に視点をおいた英語力を向上させるには、引き続きDSを活用したモジュール学習を推進していかなければならないため、DSを市で単独購入する必要がある。			
	事業の有効性	若い世代に人気のゲーム機を使うことにより生徒が楽しく学習に取り組み、学習への意欲が向上する。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果 eスクール構想(教育モデル推進事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果を高めるため、たのしく、わかりやすく、ていねいな授業を行った。</li> <li>・学力の基礎・基本の確実な取得と定着を図った。</li> <li>・学ぶ方や考え方の習得と自学自習の確立を図った。</li> <li>・自己評価システムの確立を図り、指導計画の作成や改善に役立てた。</li> <li>・学習情報を家庭と学校で共有し、家庭学習の支援に役立てた。</li> </ul>			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果			
		<p>学力の基盤となる語彙力や計算力、単語力などについてはDSでの反復練習による効果により、向上が図れた。</p>			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		文化センター改良事業			
事業の概要		八幡市文化センターは、1983(S58)年に開館以来、京都府南部の文化施設として市内外の文化活動の発展に寄与してきた。まちの文化を高め、また市内外の人々のふれあい交流及び創造性豊かな人づくりを推進していくには、拠点となる施設の計画的な整備が必要となる。開館26年を経過し、大ホール舞台機構及び舞台備品の老朽化により不具合が生じた場合、利用者に多大の影響を及ぼすものと考えられるため早急な対応が必要であり、大ホール舞台機構及び直流電流装置の更新工事を実施した。			
		事業期間	平成20年7月23日～平成20年10月31日		
		総事業費	17,063	本年度事業費	17,063
事業評価	事業の必要性	舞台装置等の不具合によりイベント等の開催が出来なくなった場合、文化活動発展に支障を来たしてしまうため、改良工事等を行う必要がある。			
	事業の有効性	まちの文化を高め、また市内外の人々のふれあい交流及び創造性豊かな人づくりを推進していくことができる。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果 舞台機構及び舞台備品の改良・更新を行うことで、市内外の利用者の多様なニーズに応え、利用者の拡大が図れた。					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		地域における子育て対策事業			
事業の概要		児童福祉施設について、地域における子育て支援と児童館、放課後児童健全育成施設を通して児童の利用促進を図るため、地域における子育て対策事業を実施した。  図書購入 図書目録作成・配布 児童用机・椅子購入 児童センター駐車場増設 児童センター不審者対応門扉・フェンス設置			
		事業期間	平成20年12月1日～平成21年3月31日		
		総事業費	4,270	本年度事業費	4,270
事業評価	事業の必要性	児童館、放課後児童健全育成施設等において、児童の利用促進を図るため、地域における子育て対策事業を実施する必要がある。			
	事業の有効性	図書を充実し読書を奨励することにより、考える力、表現力の向上が図れる。 児童センターの不審者対応門扉や駐車場を増設することにより、利便性と安全性が向上し、児童センターへの来場者数の増加が図られる。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果  子どもが豊かに育つ環境づくりと子育て家庭を地域全体で支援していくための、施設・設備の充実が図れた。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		さつき市民プール整備事業			
事業の概要		<p>さつき市民プールは市民や来訪者の身近なレクリエーション施設として重要な役割を担っている。子どもから大人まで体を動かす機会が減少しているなか、心身ともに健康的に過ごせるよう安全に配慮した、また利便性に富んだ施設としての整備を行った。</p> <p>幼児用プール周辺人工マット敷設 682.5㎡          来客用コインロッカー更新設置 50台(2列5段10人用)          監視員緊急連絡用無線機購入 6台          量水器及び電磁弁取付工事 3機</p>			
		事業期間	平成20年6月9日～平成20年7月18日		
		総事業費	7,793	本年度事業費	7,793
事業評価	事業の必要性	プールサイドのコンクリート舗装にはひび割れ、破損箇所が多く見られ、怪我発生の原因となっているので、市民の安全を守るために改修する必要がある。			
	事業の有効性	来客用コインロッカーを増設することにより、より多くの来場者に対応できる。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					
<p>遊泳者の安全確保を第一とし施設を整備することで、事故を未然に防ぐことが出来た。</p>					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		男山中学校校舎床リニューアル工事			
事業の概要		<p>日常の安全に配慮され、使い勝手がよい施設・設備の整備を図ることをはじめ、学校施設が地域住民の災害時における一時避難場所にもなっているため、安全・安心のまちづくりの観点からも改修が必要とされていた。男山中学校校舎廊下は現状コンクリートの上にウレタン系樹脂を塗っているものであるが、雨天時等濡れた状態になると滑りやすく非常に危険なため校舎内廊下全体を防滑性ビニールシートにリニューアルし生徒の安全性を確保した。</p> <p>竣工 : 昭和58年8月          生徒数 : 400人          学級数 : 14学級          工事内容: 防滑性ビニールシート施工                    階段部分       135段                    廊下・踊り場部分 660㎡</p>			
		事業期間	平成20年8月11日～平成20年8月29日		
		総事業費	5,082	本年度事業費	5,082
事業評価	事業の必要性	現状の廊下では雨等で濡れると滑りやすく、非常に危険なため滑りにくくするための対策をする必要がある。			
	事業の有効性	工事を実施することにより、事故を未然に防ぐことができる。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					
校舎の廊下を滑りにくく整備したことにより、生徒の転倒などを未然に防ぐことが出来た。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。